

文教いしかわ

BUNKYO ISHIKAWA 石川県文教会館 2019.2 No.79



－特集－

1 頁：「心の教育推進の取組」

2・3頁：「変貌する金沢港 ～クルーズ船と港の光景から～」

4・5頁：インタビュー「人」

石川県教育委員会事務局生涯学習課長 篠原恵美子氏

石川県商工労働部港湾活用推進室長 臼井 晴基氏

筆奏者 北村 雅恋氏

「心の教育推進の取組」

石川県教育委員会事務局生涯学習課長 篠原恵美子



「おかあさんの においのついた
まくらがあると、安心してねむれるよ」

「自分の気持ちを伝えて、じっくり
とお母さんと話したら、むねが
スーッとしたよ」

これは、「親子の手紙」に書かれた
子供から親へのメッセージです。

県では、社会全体で子供たちの豊かな人間性を育てる
ため、学校・家庭・地域を代表する18の団体から構成す
る「心の教育推進協議会」を組織し、様々な事業に取り
組んでいます。

具体的な事業として、

①日頃なかなか口口にできない親
子それぞれの思いを100字程度の
「短い手紙」で表現し、親子のふ
れあいやコミュニケーションを
促す「親子の懸け橋一筆啓上『親
子の手紙』」

②早寝早起き朝ごはん等を、親
子で楽しく取り組むチェックカードを使って、幼児
の望ましい生活習慣を育成する「子どもの生活リズム
向上推進事業」

③青少年の規範意識の向上を図る「グッドマナーキャン
ペーン」

等があります。

冒頭で紹介した「親子の手紙」は、平成10年度から
始めた取り組みで、当初は500点あまりの応募数でした
が、年々応募数は増え、近年は3万点近い応募があります。
道徳や学級活動など授業での活用、PTAとの連携、学
校だよりやPTAだより等での呼びかけ等による学校ぐ
るみの取り組みが増えてきたことや、少しずつ「親子の
手紙」が浸透、定着してきたことが増加につながったの
ではないかと考えています。

昨年、事業開始から20年という節目を迎え、これま
での優秀賞作品178点を集めた作品集を発行しました。読

んでいるうちに思わず笑顔になったり、涙ぐんだり、感
心したりと、どの作品も心温まるものでした。毎年「心
の教育推進大会」で優秀作品を親子で朗読をしています。
その朗読を聞いた参加者や作品集を読んだ人からは、「短
い文章でこんなに伝わってくるものがあることは素晴ら
しい」「親子の絆に涙があふれた」などの声が寄せられま
した。先日、以前にこの作品集に手紙が掲載されたこと
のある母親から事務局に「この親子の手紙をきっかけに、
気持ちを言葉にのせて届ける大切さを改めて学んだ。今、
娘は夢を叶えて頑張っています。」と感謝の気持ちを綴
った手紙が届きました。

メールやSNSなどが普及し、声や手書きの字等で自
分の思いを伝えることが少なくなってきた現代だからこ
そ、「親子の手紙」の取組が意味深いものとなると思っ
ています。

「グッドマナーキャンペーン」は9月をキャンペーン月
間とし、県下一斉で取り組んでいます。

地域の団体や小中高等学校、市町教育委員会が連携・
協力し、通学路や駅等で、大人が子供に交通ルールの遵
守や公共マナー等の大切さを呼び掛けています。大人自
身が規範意識を高め、子供とのコミュニケーションを図
ることにもつながっていると感じます。「おはようござい
ます」と笑顔で声かけすることにより一日がさわやかに
スタートします。ながらスマホによる事故も起きている
ことから、自転車の乗り方を重点的に声かけしている学
校もあります。

社会全体で、未来を担う子供たちの成長を支える環境

づくり、誰もが生き生きと
学び活躍できる生涯学習社
会の実現に向けて、皆様
のご協力をお願い
いたします。



グッドマナーキャンペーンの様子

変貌する金沢港 ～クルーズ船と港の光景から～

石川県商工労働部港湾活用推進室長 白井 晴基



外から訪れてくる人を「客人」（まれびと）と呼ぶことがあります。（※1）古い時代、客人は、陸路だけでなく、湊（みなと）からも来訪しました。

海上交通は、地域を繋ぐ手段として発達し、北前船に代表されるように、物資を運び、地域を豊かにしてきました。

陸上交通が発達し、航空利用も進んだことで、海上交通は、身近な手段から遠ざかり、港も身近な場所ではなくなったように感じられます。

しかし、近年、港は貨物の輸送などに携わる方々だけでなく、再び客人を迎える場所としての役割が大きくなってきました。

金沢港は、38豪雪を契機として、陸上輸送を代替する拠点として整備され、昭和45年に開港しました。貨物輸送が中心の港であり、一般の方が訪れる機会は少なかったのではないのでしょうか。

北陸新幹線の金沢開業も追い風に、クルーズ船に乗って、海からこの地を訪れる方々を迎え入れ、自らが旅立つ場所へと、新しい、あるいは本来の、港の役割を担うようになりました。

昨年、金沢港に寄港したクルーズ船は47本を数えました。外国船が37本、日本船が10本、このうち金沢港で乗下船できる発着クルーズは22本ありました。

金沢港を発着としたクルーズのうち、11本は欧州最大手のコスタ・クルーズ社が運航する、「日本海周遊クルーズ」でした。



【金沢港内で着岸準備中のクルーズ船】

5万7千トンの「コスタ・ネオロマンチカ」が、金沢港から、境港、韓国釜山港、博多港、舞鶴港を巡って金沢港に戻る5泊6日のコースをメインに、7月・8月の2か月間運航され、ご家族での利用を中心に大変好評でした。

昨年初めて寄港した13万8千トンの大型クルーズ船「MSCスプレディダ」からは、3千人を超えるお客様が、金沢市内をはじめ、加賀や能登、白川郷や立山黒部アルペンルートなどへ観光に出かけました。金沢港は、石川県だけではなく、北陸を広域で観光する海の玄関口となっています。

今年も、昨年を上回る50本を超えるクルーズ船の寄港が見込まれており、コスタ・ネオロマンチカの7月・8月の運航が決定しているほか、4月には、世界で最も有名なクルーズ船「クイーン・エリザベス」も金沢港に寄港します。

こうしたクルーズ船の誘致は、海外でのクルーズ関係の見本市へ出展したり、船会社や旅行会社の方を招へいしたりして、金沢港と金沢や北陸の魅力をアピールすることで進めてきました。

昨年11月には、金沢港は新たに横浜港とクルーズ船の誘致に向けた連携協定を締結しました。横浜港がクルーズ船の分野に特化した協定を結ぶのは金沢港が初めてです。横浜港は国内屈指の寄港数があり、金沢港は海外の富裕層が乗るラグジュアリー船の寄港が多い状況にあります。これまでの取り組みに加え、今後は、こうした両港の強みを活かしたクルーズ船の誘致にも連携して取り組むこととしています。

外国のクルーズ船が入港する時は、石川の伝統工芸である加賀友禅を着た女性の方々が、早朝からお出迎えをさせていただきます。海外から来日して、様々な港に寄る中でも、金沢港でのこうした



【加賀友禅を着た方々によるお出迎え】

お出迎えは、石川らしい「おもてなし」として、ひと際印象深いと船会社からも高く評価されています。

クルーズ



【高校の吹奏楽部によるお見送り】

船が出港するときは、ヨサコイの演舞や大きな旗のパフォーマンスのほか、ジャズ演奏や高校生の吹奏楽などでお見送りを

します。船のデッキやバルコニーから、多くの乗客に見てもらうことは、出演者にとっても、演技を披露する良い機会となっています。

岸壁を離れて動き出した船から手を振り続ける乗客との交歓は、毎回、印象深い体験となります。

金沢港には、クルーズ船のお出迎え、お見送りを一緒にしていただく、「金沢港クルーズ・ウェルカム・クラブ」という組織があります。港やクルーズ船に関心のある方など、無料で、どなたでも登録できます。会員にはクルーズ船寄港のご案内をメールでお知らせするとともに、船内見学会に参加できる機会もあります。

クルーズ・ウェルカム・クラブに登録いただき、港での時間を一緒に体験してみませんか。(※2)

更には、金沢港からのクルーズ船に乗っていただき、クルーズの魅力を実感していただきたいと思えます。ひとたび乗船すれば、次の移動のために荷物をまとめる必要もなく、動くホテルとなって目覚めると違う港に着いていて、寄港地ごとに手ぶらで観光を楽しめます。ツアーによっては、一日中、洋上を進む日もあります。

船内では、おいしい食事とシアターなどでの多彩なエンターテインメントを楽しみ、プールやジム、スパなどで、一日を過ごすこともできます。子ども向けのイベントを用意している船もあります。

クルーズの旅は、日々の喧騒を離れ、ゆったりとした気持ちになれる時間です。流れる航跡を眺め、ゆっくり変化する洋上からの景色を楽しむ時間を持つことができます。

一方、乗船客をもてなすために、船を職場としている方々がいることを知る機会にもなります。外国の方も多く、こちらが片言でも、ホスピタリティを持って接してくれるクルーとのやりとりも、クルーズ旅行の楽しさの一面です。

港は世界とつながる窓口であり、クルーズ船は海外の方々と交流する機会ともなっています。

2020年春には、「金沢港クルーズターミナル」が新しく整備されます。クルーズ船の入港時に税関や出入国（「C I Q」といいます。）の手続きなどで使う1階のエリアは、大型クルーズ船が2隻同時に接岸した際に4千人のC I Q手続きをスムーズに行えるよう、十分なスペースを確保しています。このエリアは柱のない大変広い空間となるので、クルーズ船の寄港がない冬季間は、子どもたちのスポーツでの利用や、企業の展示会、各種イベントなどでの活用を考えています。



【金沢港クルーズターミナル完成予想図】

C I Qエリアに接する待合スペースも、クルーズのオフシーズンには、遊具を備えて、幼児や小学校低学年の皆さんが親子連れで遊べる屋内の遊び場としての活用を考えています。

2階には、小学校の社会科見学や一般の方々へ会議や研修などご利用いただける、港に面したガラス張りの「セミナールーム」（仮称）としての機能や、子どもから大人まで、楽しみながら金沢港について学べる「学習・体験ルーム」（仮称）的機能も備え、多くの方にご利用いただけるよう、整備していくこととしています。

こうしたターミナルの整備のほか、貨物の荷役作業のための上屋を集約するなど、金沢港は、大きく姿を変えようとしています。

クルーズ船の寄港に合わせ、一緒に客人をお出迎えし、そして、自らが客人となってクルーズの旅に出かける方が一人でも増えることを願っております。

日本海側の拠点港を目指して整備が進む金沢港へ、ぜひ一度、足を運んでみてください。

※1 民俗学では異郷から来訪する神のことで、訪れた神は人々の歓待を受けて帰ると考えられていました。

※2 「金沢港クルーズ・ウェルカム・クラブ」のお問い合わせは、(一社)金沢港振興協会まで(TEL: 076-263-3710又は<http://www.k-port.jp>から)



箏奏者 北村 雅恋さん

金沢市出身。生田流正派邦楽会大師範である母北村雅楽弓師に箏のてほどきを受け、2006年生田流正派邦楽会師範に昇格。現在、自宅教室、遊学館高校、文化センター等で箏の講師として指導している。

インタビュアー 文教会館 館長 藤井 直樹

～箏奏者をめざすきっかけ～



館長：いつ頃から稽古をなさったのですか。

北村：物心がつく前でしようか、母がお箏の先生で、4歳くらいの私が舞台上で弾いている写真があります。日常の中に、箏があり、自然に習い始めました。

館長：習い始めてからいやになることはなかったのですか。

北村：思春期は他の楽器

や趣味に移りして、弾きたくないと思うときはありましたが、嫌いになることはなく、やめようとは思いませんでした。

館長：箏奏者の道を選んだきっかけをお聞かせください。

北村：節目節目に箏奏者の道へ導いて下さった方がいます。箏の演奏は母に手ほどきを受けました。いつも楽しそうに教えている母の姿を見て小学校1年生の時の将来の夢の文集には、箏の先生になる！と書いていました。高校2年生のとき、准師範の試験を受けて、その時から真面目に古典の歌や三弦に向き合ってみようと思いました。仕事としてのきっかけは小学校5年生の時から一緒に習っていた同級生の友人が私より先に演奏家として活動していたのですが、その友人に「弾いてもらえないか」と言われ、初めて一人で演奏しました。そのとき「まだまだ力不足だなあ」と感じました。

館長：北村さまの成長とともに気持ちが教えるというところまで高まっていかれたのですね。お話しやブログもおもしろいですが、ヨーロッパへ行かれて演奏したこともあるようですね。

北村：それは思い出深い体験でした。先生が演奏メンバーに入れて、経験を積ませて下さいました。初めての海外演奏でして、まわりは立派な先生ばかりで、演奏はもちろんですが、楽器の梱包、着物の着付けなど演奏以外のことでさまざまな差を感じました。箏の説明では簡単な英単語ですら出てこないというくやしい思いをしました。でも、演奏を聞いて下さった方々が大きなアクションで喜んで下さって楽しい体験でも

ありました。この体験によってまたひとつプロの箏奏者として強く志す機会になりました。

館長：海外と日本では演奏会の反応は違うのですか。

北村：海外の方は舞台まで上がってきて、いろいろ質問されますが、日本ではあまり見られない光景ですよ。古典的な伝統曲が、海外では日本らしい余韻や間があるということで人気があります。

～金沢町屋での演奏～



町屋カフェにて

館長：主計町の町屋カフェでの演奏を聞かせていただきましたが、とても良かったです。独特の緊張もありながら、北村さまのお顔もほっとしていましたし、町屋カフェのファンも楽しみにして来ている感じでした。

北村：あのような雰囲気のある場所で弾けることはとてもいい機会でした。

館長：年に何回くらい演奏会をなさっているのですか。

北村：年間50回くらいです。

館長：そうしますと、週に1回くらいになりますね。箏の説明も大変わかりやすかったです。琴柱をずらしてチューニングをするのですね。勉強になりました。

北村：舞台の演奏会ではなかなかできないことでして、演奏を終えてからよく、箏のしくみとか聞かれます。

～「kotoha (コトハ)」とは～

館長：演奏活動での苦勞についてお聞かせください。

北村：練習の時間を確保することが大変です。3年前に結婚をしましたが、これまでのサイクルとちがいで、いつ練習をすればいいかと悩んだ時期もありますが、弾いていてつらいということはないですね。

館長：稽古はどれくらいなさっているのですか。

北村：教室の生徒さんと練習していますので、朝から夕方まで常に弾いています。生徒さんも段々成長していきますのでそれに合わせて私も予習して教えていく

のは大変ですが、楽しみの一つでもあります。

館長：この間の演奏している北村さまとても楽しそうに見えましたが、演奏活動を通して、やっていた良かったなということはありませんか。

北村：たくさんの人に出会うことができたことです。海外で出会った人や他の演奏者とのコラボができました。好きなことをやらせていただいて、道も開かれていくことに幸せを感じています。



風と緑の楽都音楽祭2018での演奏

館長：今、コラボのお話しも出ましたが、女性音楽家ユニット「Kotoha (コトハ)」の活動についてお話しください。

北村：加賀友禅特使に任命いただき、横笛奏者籐舎眞衣さんとハープ奏者の上田智子さんと私が女流音楽家ユニットとして結成しました。音色は「ことのは」のように、加賀友禅に宿る心や美しさを語りかける、加賀友禅の美しさ、華やかさ、石川県の文化の豊かさ、素晴らしさを音楽でPRしていくという活動です。

館長：同じ雅楽の横笛と箏が合うのはわかりますが、ハープとの調和は琴柱をずらしてチューニングできるということをこの間の演奏で初めて知りました。「少年時代」を箏で演奏されたことが衝撃的でした。洋と和の融合ですね。

北村：箏とハープのルーツは同じように感じます。お互い同じような弾き方もあり発見もありますね。

館長：金沢は海外のお客さんも多くなりましたが、「コトハ」の活動はうってつけですね。



女流音楽家ユニット kotoha

北村：国内や海外の方に日本の良さ、金沢の良さをお伝えできる大切なお仕事なので今後も努力していきます。

館長：今村つばささんの曲で箏を演奏されているのを聞きました。

フレーズを工夫されて、ポルトガル語の曲にも違和感なくとけこんでいて、すばらしい演奏でしたね。

北村：箏は十三弦という制限がある中で悩ましいですが、魅力があります。十三弦でいかに表現するかというところに醍醐味があります。

～指導者として、そして抱負～

館長：北村さまの社中で和楽器の稽古はどのような年

齢の方がいられていますか。

北村：小学校1年生から70代の方まで幅広くいられています。習い始めた理由は様々で、若い頃に箏を習っていた、とか若い頃にできなかったのをやってみたい、小さな子は家に楽器があるからやってみたい、というものです。

館長：遊学館高校で講師をなさっているということですが、どのような内容ですか。

北村：遊学講座という土曜日に授業を行っています。楽器が4面あり、今年は4人の生徒が受講していますが、土曜日を楽しみにしているみたいで大変熱心に学んでくれています。今、箏曲部を描いた「この音とまれ！」という漫画の人气があり、箏曲のことが広がっていくようで大変嬉しく思っています。少人数から始めた箏曲部の高校生が全国大会を目指していくもので、私の目標となっています。

館長：漫画でそのようなものもあるとは知りませんでした。箏は想像以上に敷居が高いと思っていましたが、今日の北村さまのお話しをお聞きしてそうではないのだなと思いました。

北村：敷居は高いイメージがありますが、石川県は文化度が高く、和楽器をやっている子どもたちは少なくありません。私は身近に箏のある環境で育ちましたが、ピアノを習っている、というのと同じように箏を習っている、という子どもが増えると嬉しいです。私の社中で学んでいる生徒さんにも舞台上で発表できる機会を作っています。

館長：演奏する子どもたちへ背中を押してあげる言葉はなんでしょうか。

北村：何と声をかけていいか悩みますが、「楽しんでおいで」と。楽しそうに弾くと聞き手に伝わるものがあります。適度な緊張も含めて楽しい、幸せだなと感じてもらえると嬉しいです。

館長：今後の抱負をお聞かせ下さい。

北村：演奏活動としては、伝統文化が息づく金沢に生まれ、和楽器と密接な関係をいただきましたので、石川県だからこそ発信できる演奏をしていきたいと思っています。そして日常に和楽器があるような町にしていきたいとも思っています。指導している生徒さんには楽しんで好きになって弾いていただくと嬉しいです。

館長：ありがとうございます。今後ますますのご活躍をお祈りしております。



事業報告

第31回 いしかわ県民陶芸展

期間：平成31年1月19日(土)～27日(日)

今年も、県内の陶芸愛好家の皆様から数多くの力作が寄せられました。作品は一般83点、青少年111点、招待作品2点の合計196点にのぼり、出品者も5歳から90歳と幅広い年齢層にわたりました。

審査員の先生からは、「技術が上手になり、それぞれの見せどころがあって審査が難しかった。青少年の作品は年齢に合った夢が出ていた。」との感想をいただきました。

会期中1千名余りの方々にご鑑賞いただくことができ、盛況のうちに幕を閉じました。ご出品いただいた皆様、ご来場いただいた皆様、運営を支えてくださいました皆様方、誠にありがとうございました。



いしかわ県民陶芸大賞



海浜の松並木

小室 豊昭
(志賀町)

審査員寸評

いしかわ県民陶芸大賞にふさわしい作品です。夕暮れの海面に映る、心に残る最高の作品です。

★石川県教育委員会賞 2点

●悠久の杜

尾山 隆峰(金沢市)

審査員寸評

最高の力作です。器の列紋の強弱を調整することによってさらに素晴らしくなります。



●め・ぐ・み

千葉 愛咲陽(県立工業高校)

審査員寸評

心に灯がともった感じで楽しいです。色がなくても色を感じさせる作品です。



★文教会館理事長賞 10点



審査会の様子

- 野焼ぶどうつぼ
- 遙かな想いⅡ
- 深鉢研出蒔絵風
- 黒楽茶盃
- ニヤンケストラ

- 河原重忠
- 野川志麻子
- 品野外与二
- 戸田法子
- 塚田和子

- スノーボックス 孫總夏鈴
- 九谷色絵陶板「Rainbow Bird」 浜田茂雄
- イーガ団の仮面目ん玉オバケの面 中藤健志郎
- 色絵陶箱「ミワクノヒキダシ」 林優花
- 共同制作

黒搔き落とし時計陶板『光と影』

- 石村珠梨 坂上美由香 佐藤柊冴
- 土山杏奈 中西虎太 道苗玲雄 山本虎伯

「いしかわ教育ウィーク」関連行事

期間：11月1日(木)～7日(水)

教育資料ロビー展「文教会館所蔵「外国語」教科書のあゆみ展」 明治・大正・昭和・平成～教科書を通してみる時代～



当財団が所蔵する教育資料約5万点のうち、明治期から現代に至るまでの教科書は現在約5,800点あります。その中から今回のロビー展では、「外国語」の教科書を中心に展示しました。明治期から試行錯誤を重ねてきた小学校の英語教育の変遷や、現在の小学校の外国語活動の様子などの展示もあり、期間中多くの方にご観覧いただきました。教科書を通してその時代の背景を知っていただくとともに本事業への関心と理解を高める機会となりました。

教育史セミナー開催

演題「学校教育と障害者権利条約」

教育ウィーク中の11月2日(金)、当館4階大会議室において、緩目敬氏(元県立明和養護学校長)にご講演いただきました。

分かりやすい年表で学校教育と障害者の権利に関する条約の変遷等について理解を深めることができました。



事業紹介

教育資料収集整理事業 文教会館教育資料ロビー展のご案内

当財団では、教科書や教育物具・教育文献等の県内の貴重な教育資料の収集保管展示を行っています。その一環として、当館の1階ロビーでは、年間を通して、収集資料や県立学校等の特色ある教育活動を紹介しています。

平成31年度は、19回のロビー展（県立学校等53校の出展）を予定しています。当館のロビー展が県民の皆様にとって、教育に対する関心と理解を深める機会となれば、幸いです。

いつでもお気軽にお立ち寄りください。

平成31年度 教育資料ロビー展（予定） 場所：文教会館1階ロビー 入場無料

No.	期 間	展 示 名	内 容
177	4月	文教会館収蔵資料公開展	平成30年度の収集資料
178	4月	学校の一年をふり返る	H30年度の県立学校等の刊行物(学校新聞・生徒会誌等)
5月～3月 特色ある学校の活動（53校予定）			
179	5/8(水)～20(月)	県立宝達高等学校	学校紹介
		県立羽咋工業高等学校	学校活動紹介
		県立田鶴浜高等学校	看護師・介護福祉士への道
180	5/24(金)～6/5(水)	県立金沢二水高等学校	金沢二水高校の教育活動
		県立工業高等学校	学校紹介
181	6/8(土)～23(日)	県立七尾特別支援学校珠洲分校	学校紹介
		県立金沢泉丘高等学校	金沢泉丘高校 課題研究紹介
		県立羽咋高等学校	羽咋高校紹介
182	6/27(木)～7/9(火)	金沢市立工業高等学校	学校紹介
		県立小松高等学校	SSH・NSH課題研究紹介
		県立金沢辰巳丘高等学校	大きな明日へ
183	7/13(土)～24(木)	県立医王特別支援学校	学校紹介
		県立鶴来高等学校	鶴来高等学校の変遷
		県立金沢伏見高等学校	学校紹介
		県立金沢西高等学校	金沢西高校紹介
184	7/27(土)～8/8(木)	小松市立高等学校	学校活動の紹介
		県立七尾城北高等学校	七尾城北高校の活動
		県立穴水高等学校	地域に学び地域を元気にする取り組み
185	8/17(土)～9/1(日)	県立門前高等学校	門前高校の取り組み
		県立七尾東雲高等学校	七尾東雲高校の取り組み
		県立盲学校	盲学校の紹介
		県立七尾特別支援学校	学校紹介と作品展示
186	9/5(木)～18(水)	県立錦丘中学校	学校紹介
		県立大聖寺高等学校	大聖寺高校紹介
		県立野々市明倫高等学校	学校紹介
187	9/21(土)～10/7(月)	県立いしかわ特別支援学校	いしかわ特別支援学校 Challenge yourself
		県立加賀高等学校	加賀高校紹介
		県立鹿西高等学校	鹿西高校の活動紹介
		県立錦城特別支援学校	錦城特別支援学校 作品展示
188	10/11(金)～24(木)	県立小松商業高等学校	学校の概要（取組）
		県立翠星高等学校	（食と農と環境）翠星高校の学び
		県立内灘高等学校	特色ある教育活動
		県立輪島高等学校	学校紹介
189	11/1(金)～7(木)	「いしかわ教育ウィーク」関連行事	
190	11/12(火)～24(日)	県立加賀聖城高等学校	加州大聖寺藩参勤交代うおーく2019パネル展
		県立金沢向陽高等学校	学校紹介
		県立飯田高等学校	学校紹介と作品紹介
		県立ろう学校	学校紹介
191	11/28(木)～12/10(火)	県立寺井高等学校	学校紹介と作品展示
		県立羽松高等学校	羽松高校紹介
		県立七尾高等学校	SSH・NSHの活動について
		県立能登高等学校	能登の魅力紹介
192	12/14(土)～26(木)	県立金沢桜丘高等学校	金沢桜丘高校学校紹介
		県立金沢北陵高等学校	金沢北陵高校の歴史・伝統
		県立志賀高等学校	学校紹介
		県立明和特別支援学校	明和特別支援学校の紹介
193	1月	いしかわ県民陶芸展	
194	1/30(木)～2/11(火祝)	県立小松工業高等学校	小松工業高校の活動
		県立小松明峰高等学校	小松明峰高校学校紹介
		県立松任高等学校	学校紹介
		県立津幡高等学校	学校生活・部活動の紹介
195	2/15(土)～27(木)	県立大聖寺実業高等学校	地域と連携した教育活動
		県立小松特別支援学校	学校紹介 作品展示
		県立小松瀬領特別支援学校	小松瀬領特別支援学校の紹介
195	3/3(火)～15(日)	県立金沢商業高等学校	観光教育への取り組み
		平成31年度文教会館のあゆみ	

ロビー展の様子



県立金沢錦丘中学校



県立金沢伏見高等学校



県立ろう学校



県立七尾城北高等学校



県立小松瀬領特別支援学校

★ロビー展に出展を希望される学校や団体は、文教会館までお問い合わせください。

TEL 076-262-7311

★これまでのロビー展の様子は当館ホームページからご覧いただけます。

教育資料ロビー展

2019年度 文教国際理解講座のご案内

～ネイティブスピーカーによる異文化理解講座です～

講座	内容	曜日	講座時間 (100分)
英米文化 初級	挨拶程度の会話をしよう (英検3級程度)	木	10:00～11:40 18:30～20:10
英米文化 準中級	英語で簡単な会話ができるように (英検準2級程度)	火 水 水 木	18:30～20:10 10:00～11:40 18:30～20:10 10:00～11:40
英米文化 中級	英語で日常の会話ができるように (英検2級程度)	火 水 木	10:00～11:40 10:00～11:40 18:30～20:10
英米文化 上級	日本語同様に会話ができるように (英検準1級程度)	火	18:30～20:10
韓国文化 初級	ハングルや韓国文化に親しむ	水	18:30～20:10
中国文化 初級	中国語(標準語)や中国文化に親しむ	水	19:00～20:40

実施期間：2019年5月～

2020年3月上旬

対象：教職員・一般・高校生

定員：1講座20名程度

受講料：年額36,000円(年35回)

(教材は実費負担)

応募期間：2019年3月10日(日)

～4月10日(水)



外国の言葉や文化を学ぶ楽しいひとときをぜひお楽しみ下さい。

申込方法：文教会館までお問い合わせください。

※当館のホームページから申込書をダウンロードできます。

※応募期間が過ぎても定員に空きのある講座には途中入会ができます。

文教国際理解講座

検索

2019年度 文教アートウェイブのご案内

～演劇・演奏会・リサイタル等にご利用ください～

文教アートウェイブ事業では、地域文化の振興を図ることを目的に、演劇や演奏会等の公演を希望される方に利用料と冷暖房費を無料でホールをお貸ししています。(照明設備費等有料)。

公演ご希望の方は文教会館事業課までお問い合わせの上、お申し込みください。



今年も素晴らしい公演をお届けします♪
皆様、お誘い合わせの上、ぜひご来場ください。

2020年度公演 募集期間 2019年5月1日(水)～9月30日(月)

<今後の公演予定>

※公演の日時等は変更になる場合がございます。

石川県立金沢伏見高等学校吹奏楽部 第6回定期演奏会 ◆入場無料	2019年3月23日(土) 14:00～(開場13:00)
金沢市立額中学校吹奏楽部 定期演奏会『絆コンサート』 ◆入場無料	2019年3月27日(水) 18:30～(開場18:00)
石川県立金沢辰巳丘高等学校合唱部 第3回演奏会 ◆入場料：700円	2019年3月29日(金) 18:00～(開場17:30)
石川県立金沢泉丘高等学校合唱部 第10回定期演奏会 ◆入場料：500円	2019年3月30日(土) 14:00～(開場13:30)
金沢高等学校吹奏楽部 サマーコンサート2019 ◆入場無料	2019年6月22日(土) 14:00～(開場13:30)
金沢市立小將町中学校吹奏楽部 第8回定期演奏会 ◆入場無料	2019年7月28日(日) 14:00～(開場13:30)



H30 金沢高校吹奏楽部



H30 金沢市立小將町中学校吹奏楽部

★応募や公演予定の詳細は、当館ホームページからご覧になれます。公演申込書もダウンロードできます。

2019年度 「教育文化研究会」募集のご案内

※参加ご希望の方は、文教会館事業課までお問合せください。

	研究会名	定員	年会費	内容	日時
I	もっと知りたいアジア	10名	5,500円 全11回	アジア文化圏の地理、歴史、時事問題に関心を寄せ、ときにはビーズやアジア料理なども楽しむ。	第2土曜日 14:00～16:00
II	源氏物語を楽しむ	10名	11,000円 全22回	『源氏物語』の原文をはじめ、さまざまな文献にあたり古典の奥深さを味わう	第3・4土曜日 10:00～12:00
III	茶道入門教室	10名	11,000円 全22回	初心者のための茶道入門。お茶のいただき方、簡単なお点前、作法を1年間で学ぶ(流派：表千家)	第1・3月曜日 12:00～16:00
IV	近世芸能研究会	15名	15,000円 全30回	漢詩・短歌・俳句をとおして詩吟を探求する	第1・2・3木曜日 18:00～19:00

※文教国際理解講座・文教アートウェイブ・教育文化研究会は、「いしかわ県民大学校」の連携講座です。